

令和2年9月吉日

関係医療機関・事業所 各位

周南市立新南陽市民病院  
病院長 松谷 朗

## 地域包括ケア病棟へのレスパイト入院のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、地域医療連携において、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当院では、令和2年4月から地域包括ケア病棟を開設し、急性期治療が終了した患者様が、安心して在宅復帰できるよう支援を進めております。

また、この度、在宅療養をされている患者さまのご家族を支援するため、レスパイト入院『在宅医療の継続を支援する入院』の受入れも開始いたしましたので、別紙のとおりご案内申し上げます。 敬具

### 1 当院の地域包括ケア病棟の役割

#### (1) DPC病棟と地域包括ケア病棟への病棟再編

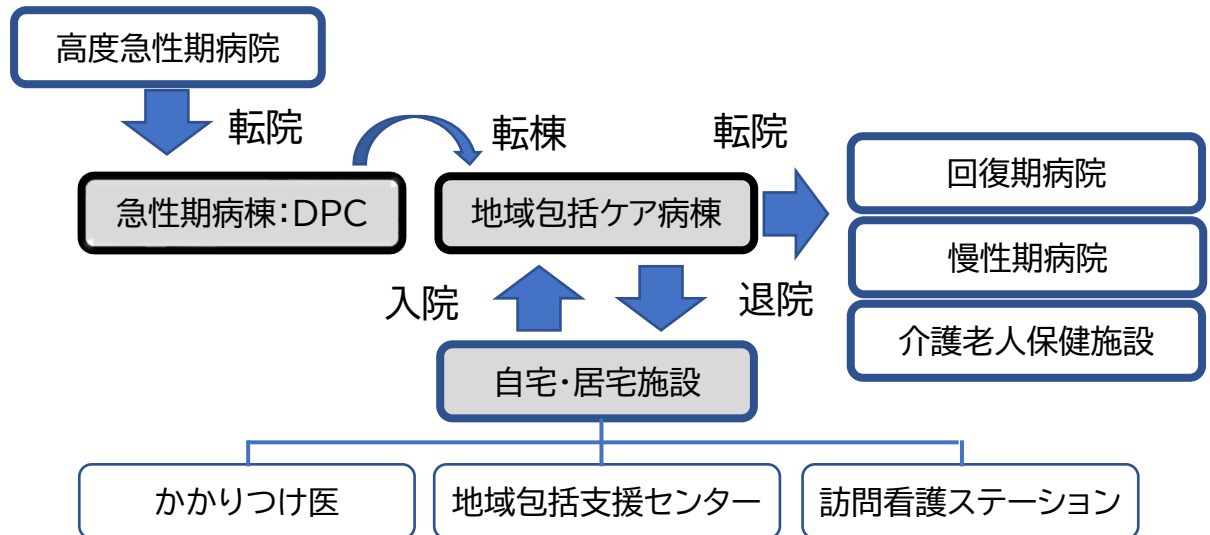
- 当院では、令和2年4月から、病棟機能の機能分化・強化、及び連携を図るため、4階・5階病棟は『DPC対象病院』として厚生労働省の認定を受け、急性期・救急医療の提供において、従来に増して医療の標準化と質の向上に努めることとしたところです。
- また、6階病棟は、『地域包括ケア病棟』の届出を行い、医療や介護が必要な状態になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続し、尊厳をもって人生の最期を迎えることができるように、在宅医療を支援する機能の充実に努めることといたしました。

#### (2) 地域包括ケア病棟の4つの役割

- ① ポストアキュート機能【予定】（ 高度急性期や急性期からの転棟・入院 ）
- ② サブアキュート機能【緊急】（ 在宅等の療養患者の急変時の緊急入院 ）
- ③-1 その他の周辺機能（予定入院）  
予定入院患者の受け入れ（糖尿病教育入院、HOT教育入院、短期滞在手術、緩和ケア、医療必要度の高いレスパイト入院 等）
- ③-2 その他の周辺機能（予定外入院）  
軽度急性期疾患の救急入院、又は日常的な生活支援が少ない患者の管理入院
- ④ 在宅・生活復帰支援機能（ 住み慣れた地域で安心して生活できる在宅移行支援 ）

## 2 地域包括ケア病棟を中心とした『地域包括ケアシステム構築』のイメージ

### ● 高度急性期病院を支援する機能



### ● 地域包括ケアシステムを支援する機能

- (1) 周南市西部の中核病院として、地域包括ケアシステム構築における中心的役割を担います。
- (2) 「サブアキュート機能」や「その他の周辺機能（予定/予定外）」の役割を充実させ、在宅医療を中心に担われている在宅主治医（かかりつけ医）の負担軽減のために、在宅や、居宅施設等で療養中の患者さまの状態が軽度悪化した場合においても、より簡単に紹介できるよう、紹介窓口を地域連携室で一元管理することなど、スムーズな受入れ体制の整備に、職員全員が一丸となって努めてまいります。

## 3 連携の窓口

### 周南市立新南陽市民病院

地域連携室 小田・鳴原

TEL 0834-61-3250 (直通)

FAX 0834-61-3211

E-Mail renkei@city-hp.or.jp

※ 平日の午前8時30分～午後5時